

## 遠隔診療とは

遠隔診療とは、患者が病院やクリニック等に来院することなく、医師、医療コンサルタント、看護師、その他の医療従事者に健康状態を相談をするための診療方法です。

遠隔診療では、患者本人の自宅や親族または友人の自宅等、より適した場所から受診することができます。必要なものは、電話、スマートフォン、タブレット、またはパソコン、そして自由に支障なく会話をすることのできる環境です。

遠隔診療は通常電話で行いますが、スマートフォン、タブレット、またはパソコンを使用したビデオ通話も可能です。

連絡手段、日時については、担当の医療従事者から連絡があります。診療時に通話または接続が中断した際の双方の対処方法等については、医療従事者から指示があるはずで

## 遠隔診療の普及が拡大している理由

遠隔相談の導入は数年前から始まりましたが、診療に関しては広く活用されていませんでした。しかし新型コロナウイルスの感染拡大を受け、感染の抑制を目的としたソーシャルディスタンスの確保が重要となり、最近では対面診療が「遠隔」診療に置き換えられることが頻繁にあります。今日、遠隔診療は看護の改善や、より早く利用しやすい医療サービスの提供に活用され、より多くの患者対応が通常の医療現場外で行われています。

この診療方法は、医療サービスの利用を制限するのではなく、患者にとって最も安全かつ最適な診療とより効率的なサービスを提供することを目的としています。対面診療がどうしても必要な場合、または遠隔診療が適切でない患者に対しては、対面診療を行う必要があります。対面診療を希望する場合は、かかりつけの医療従事者へお問合せください。

## 効果的な遠隔診療を受診するためには

- プライベートなことを他人に聞かれる心配のない、リラックスして気兼ねなく会話ができる静かな場所を見つけましょう。騒音のある場所では双方の会話が聞きづらくなります。
- ペン、メモ用紙、眼鏡等を用意し、要点を書き留めましょう。
- 聴覚障害または視覚障害がある場合や、精神的なサポートが必要な場合は、親族や友人に同席を頼みましょう。
- 通常の見学診療を受けるつもりで、同様の準備をしておきましょう。
- 定期的経過観察である場合は、相談したいことの要点を考えておきましょう。
- 質問がある場合は、事前書き留めておきましょう。質問を書き出す際には、最も重要な質問を一覧の先頭に書いておき、確実に回答を得られるようにします。また事前に質問事項の一覧を担当の医療従事者に送っておくことで、医療従事者が診療前に相談内容を把握しておくことができます。
- 前回の診療以降に見られたすべての症状を、軽度なものも含め書き留めておき、診察の際に相談できるようにしておきましょう。

- 新しい症状について診察を希望する場合は、相談内容を準備しておきましょう。
  - 症状の内容
  - 症状の持続期間
  - 病歴
  - 服用中の薬
  - 服用したことのある市販薬またはビタミン剤等

- どのようなことでも思いついたことは躊躇せず、質問しましょう。また、理解できなかったことは聞き直しましょう。
- 以前に話した事を再度伝えたり、次の段階について話し合うことが役に立つことがあります。はっきりしないことがあれば、再度、または別の方法で、医療従事者が説明を行います。
- 診療が終了する前に、用意していた質問事項についてすべて回答を得られたか、また次の段階について、質問や懸念事項があった際の問い合わせ先、対応時間について確認しましょう。

### 電話診療

- 電話による診療を受ける場合、担当の医療従事者またはそのチームのスタッフが連絡に使用する電話番号の確認を事前に行います。
- 予約した診療時間に極力合わせて電話がかかります。予約時間ちょうどに電話がなくても心配しないでください。担当の医療従事者の手が空き次第、電話があります。
- 携帯電話を利用する場合は、通話が中断しないよう十分に充電されているかを必ず確認しましょう。
- 通話の妨げとならないよう、携帯電話の通知機能を無効にしておきましょう。
- 診療の開始時に、通話が中断した場合の双方の対処方法について、確認を行いましょう。あらかじめ確認しておくことで、診療を素早く、簡単に再開することができます。
- 通話の再開が困難な場合は、別の日に予約を取り直します。

### ビデオ診療

- ビデオによる診療を受ける際はセキュリティおよびプライバシーの確保を十分に行い、診療に関わりのない第三者によるアクセスを防止する必要があります。
- ビデオ診療では、スマートフォン、タブレット、またはパソコンを利用することができます。

- ビデオ診療では、患者の身体的な兆候（困惑をしているか、痛みを感じているか等）を医療従事者が見ることができるため、病状を診断しやすくなることがよくあります。
- ビデオ通話を繋げるため、インターネットに接続していることを確認しましょう。
- 家の中でインターネット接続が悪い場所や不安定な場所が分かっている場合は、そのような場所は避けましょう。
- 顔に自然光があたる（直射日光は避けてください）窓の前など、静かで、明るい場所を見つけましょう。患者を医療従事者がはっきりと見ることができます。
- 怒鳴らずに、大きな声ではっきりと話してください。
- 診療の開始時際に、通話が中断した場合の双方の対処方法について、確認を行いましょう。あらかじめ確認しておくことで、診療を素早く、簡単に再開することができます。
- 通話の再開が困難な場合は、別の日に予約を取り直します。

### 遠隔診療のメリット

遠隔診療には多くのメリットが挙げられます。

- 待合室で待つ必要がないので、新型コロナウイルス等、病原菌やウイルスに感染する心配がありません。
- 来院のストレスがなくなります。
- 通院時間がかかりません。
- 通院費や駐車場代がかかりません。
- 家族、仕事の都合にあわせた時間に受診することも可能です。



GLOBAL LUNG CANCER  
COALITION

Virtual Consultations.  
© Global Lung Cancer Coalition  
[www.lungcancercoalition.org](http://www.lungcancercoalition.org)

本案内は肺がん専門医監修の下、世界肺癌連合 (GLCC) 事務局が作成しています。お住まいの国でご利用可能な支援や情報サービスに関する詳細は、[www.lungcancercoalition.org](http://www.lungcancercoalition.org)をご覧ください。バージョン 1.0 – 2021年12月。